

# 知的障害者の自立生活を支える ネットワーク・プラットフォーム構築事業

NPO 法人 風雷社中

〒146-0094 東京都大田区東矢口 3-31-8 1階

## 助成事業の概要

### ◆調査活動実施

- ・ 時期：2019年4月～12月
- ・ 内容：知的障害者の自立生活を実践している地域を訪問し、インタビュー調査を行った。
- ・ 対象：障害当事者（コミュニケーションが困難な場合は家族を含む）、福祉関係者、直接支援担当者等。
- ・ 訪問地：京都府、大阪府、静岡県、東京都、三重県、福岡県。
- ・ 調査チーム：田中恵美子（東京家政大学准教授）を中心にプロジェクトメンバーが帯同し訪問調査を行った。

### ◆調査報告会開催

- ・ 時期：①2019年 ②2020年
- ・ 場所：①立命館大学  
②ZOOM、You TubeLiveによる配信
- ・ 内容：①関西方面での調査報告  
②2019年度での調査報告及び調査訪問先の関係者を招聘したパネルディスカッション

### ◆報告書の発行及びWEB掲載

- ・ 内容：調査活動のレポート、報告会実施のレポート
- ・ 発行数：500部
- ・ WEBに本事業の取り組みを掲載  
URL <https://fuu-rai.jimdoofree.com/>

## 事業の成果

重度知的障害のある人たちの自立生活（ケア付き一人暮らし）について、5都道府県での実践をインタビュー形式でおこなった事によって、各地域での課題や共通する課題や現状を把握することができた。今後、報告書の頒布や継続する学習活動を通し、インタビュー調査の内容を共有化する事で未だ社会的認知の低い重度知的障害のある人の自立生活への理解や取り組みの促進を図るための基礎を築くことができたとと言える。また、報告書の内容は、これまで実践を積み重ねてきた方々の振り返りとなると共に、近年実践を開始したグループや、これから実践に取り組んでいくグループへの事例提示として活用していけるものである。これまで、特定地域の実践の報告がされる機会はあったが、全国を対象としたこの報告書は、特定地域の特別な取り組みとして見られてきた、重度知的障害のある人の自立生活が、現行制度下で一定の条件が整えば地域を問わずに実践の可能性のあることを知らしめるものであり、より多くの地域での実践を生み出していく材料として活用が可能なものであると考えます。

また、大阪、東京（on line）での報告会に知的障害のある人の自立生活に関してオピニオンとなっている人たち、また実践者として活躍する人たちが地域を超えてつながりを持つことが改めて実現されたことで、今後、全国的なネットワークを構築するために基礎を築くことができた。報告会登壇者の多数から全国的なネットワークの必要性に賛同を得ることができたと感じている。

また on line を活用した報告会の実施により、遠隔の地域がこれまでより密度濃く繋がりを確認することができた。その成果として、この事業に協力している「知的障害者の自立生活声明文プロジェクト」の定例会に on line で東京、横浜、浜松、京都、福岡の実践者や関係者参加をし、繋がりを継続して行くことが実現している。

## ■ 成果の広報、公表

---

京都での報告会に74名の参加、東京での報告会（on line）に312名の視聴があった。また、報告は500部作成、関係者及び関係諸機関への頒布を行う。インターネットで事業の概要を公開し、報告書入手希望者からの問い合わせに対応できる体制をもった。今後、シンポジウムなど学習活動の際の基本資料としても活用していく。

URL <https://fuu-rai.jimdofree.com/>

## ■ 今後の展開

---

2020年度は、継続的に「知的障害者自立生活声明文プロジェクト」と協働し、on line での定例会を実施し、全国の実践者、関係者が繋がりを継続していく取り組みを持ちます。また ML の整備を進めます。重度知的障害のある人の自立生活に取り組んでいる、また取り組もうとしている家族が繋がる機会となる on line での学習活動を実施します。地方で実施される重度知的障害のある人の自立生活に関する学習活動と連携をし、全国的な繋がりの強化をはかると共に、この実践をさらに進めていくために必要な制度改正のための提言をつくる呼びかけをおこなっていきます。